

計画無痛分娩をお考え中の方へ

1. 無痛分娩とは

無痛分娩とは陣痛の痛みを和らげる、または、痛みを取る方法です。

当院は「硬膜外麻酔」という腰から入れたカテーテルから麻酔薬を入れる方法を計画分娩で実施しています。8～10割の痛みが取れます。

実施時期は、36週以降の妊婦健診時に医師が内診を行い、子宮口の状態により入院日を決定します。38～39週頃に入院になることが多いです。

入院後は、お産が進みやすくなるように、必要時は子宮口(頸管)を拡張し、その後、硬膜外カテーテルの処置をします。そして、陣痛促進剤(内服、または、点滴)で陣痛を誘発します。

赤ちゃんが産まれる時には、痛みを感じませんが、お腹の張りはわかるので、張りに合わせていきんで赤ちゃんを産むことができます。お産後は、疲労が少ないので体力的に楽に過ごせます。

～無痛分娩のメリット～

- ★分娩時の痛みを軽減できる
- ★心身ともに余裕をもってお産に臨める
- ★産後の疲労感が軽減される



赤ちゃんが産まれた喜びを最大限に感じられます

2. 対象者

- ・「日本産科麻酔学会 JSOAP」の「無痛分娩 Q&A」読み、理解し、希望する方
- ・非妊時のBMIが25未満の方

※腰部に入れ墨、タトゥーがある方の無痛分娩は実施できません

3. 「計画無痛分娩」を考え中の方へ

妊婦様とご家族の方は、「日本産科麻酔学会 JSOAP」の「無痛分娩 Q&A」を必ず、ご覧ください。計画無痛分娩は、この「Q&A」をお読みにになり、決断された方が対象になります。

ホームページ (<https://www.jsoup.com/>) の

「一般の方へ」から「無痛分娩 Q&A」をご覧ください。

右のQRコードからも可能です。⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒



4. 料金 85,000円 36週健診来院時預からせて頂きます

5. 説明と同意(申し込み)

上記の「Q&A」をご覧になり、「計画無痛分娩」を決断された妊婦様には、妊娠28～29週の妊婦健診で、より詳しい説明をさせていただきます。その後、同意書をお渡しいたしますので、ご記入後、次回、妊婦健診時にご提出ください。

医療法人 浅桐産婦人科